

発掘調査報告 第40集

県営中山間総合整備事業・農業集落配水緊急整備事業・上水道配水管布設替事業  
埋蔵文化財発掘調査

# 高見原遺跡

2002.3

長野県上伊那地方事務所  
長野県駒ヶ根市  
長野県駒ヶ根市教育委員会

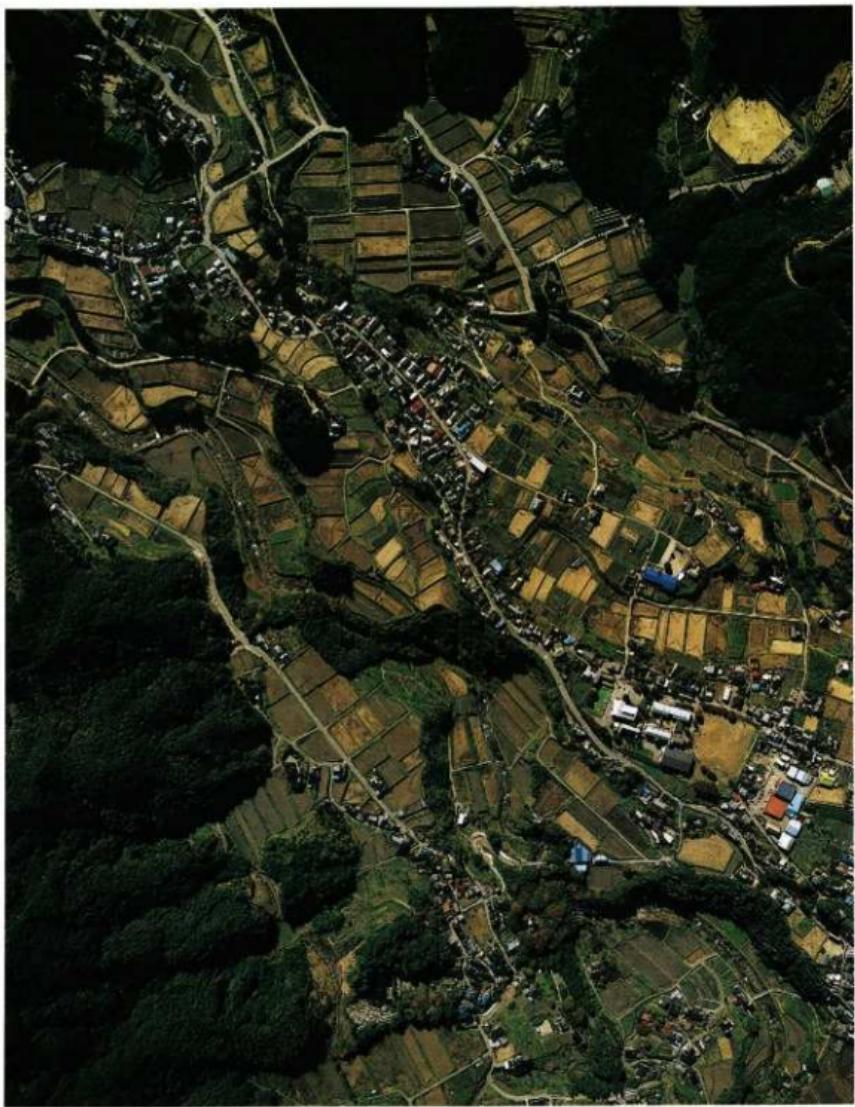
発掘調査報告 第40集

県営中山間総合整備事業・農業集落配水緊急整備事業・上水道配水管布設替事業  
埋蔵文化財発掘調査

# 高見原遺跡

2002. 3

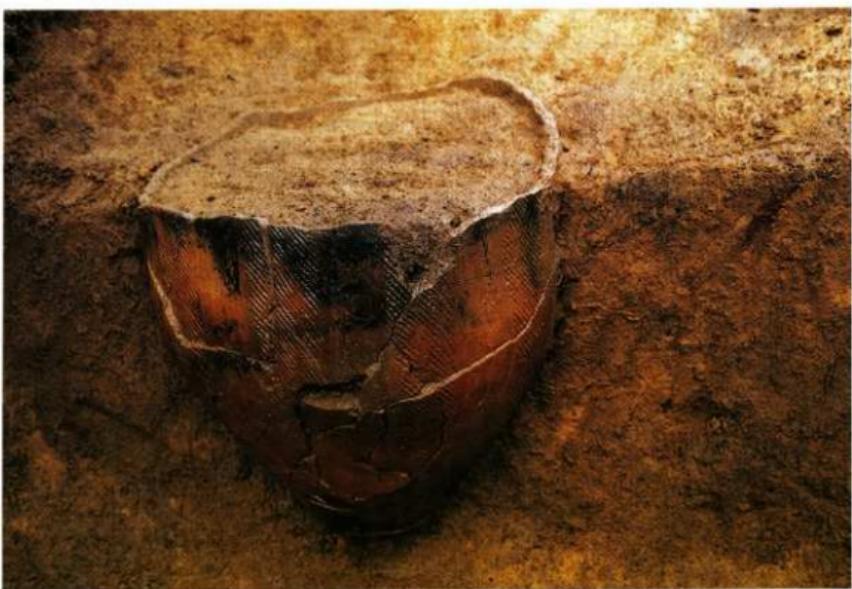
長野県上伊那地方事務所  
長野県駒ヶ根市  
長野県駒ヶ根市教育委員会



高見原遺跡上空より



1. 第50号住居址埋甌



2. 土壤99遺物出土土器

## 例　　言

1. 本書は、長野県上伊那地方事務所が実施する中山間総合整備事業駒ヶ根竜東地区「原垣外」工区、関連する農業集落配水緊急整備事業及び上水道管布設替事業に伴う、長野県駒ヶ根市中沢2408番3外「高見原遺跡」の発掘調査にかかる報告書である。
2. 発掘調査は、駒ヶ根市から最委託を受け、駒ヶ根市埋蔵文化財発掘調査会が実施した。
3. 現場での遺構測量、遺物の実測、遺構・遺物の製図、写真撮影は田村巴が担当し、遺物の復元は湯澤啓子が、採拓は湯沢啓子と宮崎啓子が担当した。
4. 遺構番号は前回調査の続きとし、今回の調査に該当するものは住居址番号—50号、土壙番号—80号からである。
5. 実測図の方位は磁北を示す。
6. 遺構・遺物の縮尺は、各図に示してある。
7. 本報告書の執筆は、田村が担当し、監修は氣賀澤が行なった。
8. 発掘調査及び報告書作成に当っては多くの方々から助言・ご指導を賜った、ここに記して謝意としたい。
9. 本調査に係る諸記録及び出土遺物は、駒ヶ根市立博物館に保管している。

# 目 次

## 卷頭図版

## 例 言

### 第1章 発掘調査の経緯

|           |       |   |
|-----------|-------|---|
| 1 事業の経過   | ..... | 1 |
| 2 発掘調査の組織 | ..... | 1 |

### 第2章 遺跡の環境

|               |       |   |
|---------------|-------|---|
| 1 遺跡の立地       | ..... | 4 |
| 2 歴史的環境・周辺の遺跡 | ..... | 4 |

### 第3章 発掘調査

|               |       |    |
|---------------|-------|----|
| 1 調査の経過       | ..... | 8  |
| (1) 過去の調査について | ..... | 8  |
| (2) 調査概要      | ..... | 8  |
| (3) 発掘調査作業経過  | ..... | 9  |
| 2 遺構と遺物       | ..... | 17 |
| (1) 住居址       | ..... | 17 |
| (2) 土 壤       | ..... | 19 |
| (3) 溝状造構      | ..... | 20 |

|          |       |    |
|----------|-------|----|
| 第4章 おわりに | ..... | 20 |
|----------|-------|----|

## 図 版

## 挿 図 目 次

|                        |       |    |
|------------------------|-------|----|
| 第 1 図 長野県駒ヶ根市位置図       | ..... | 1  |
| 第 2 図 高見原遺跡位置図         | ..... | 3  |
| 第 3 図 高見原遺跡及び周辺遺跡分布図   | ..... | 7  |
| 第 4 図 高見原遺跡調査概要図       | ..... | 11 |
| 第 5 図 調査構造全体図 1 (折り込み) | ..... | 13 |
| 第 6 図 調査構造全体図 2 (折り込み) | ..... | 15 |
| 第 7 図 第 50 号住居址実測図     | ..... | 24 |
| 第 8 図 第 51 号住居址実測図     | ..... | 25 |
| 第 9 図 第 52 号住居址実測図     | ..... | 25 |
| 第 10 図 第 53 号住居址実測図    | ..... | 26 |
| 第 11 図 第 54・55 号住居址実測図 | ..... | 26 |
| 第 12 図 第 56 号住居址実測図    | ..... | 27 |
| 第 13 図 第 57 号住居址実測図    | ..... | 27 |
| 第 14 図 土壌 80 ~ 94 実測図  | ..... | 28 |
| 第 15 図 土壌 95 ~ 109 実測図 | ..... | 29 |
| 第 16 図 第 50 号住居址出土遺物   | ..... | 31 |
| 第 17 図 第 50 号住居址出土遺物   | ..... | 31 |
| 第 18 図 第 51 号住居址出土遺物   | ..... | 32 |
| 第 19 図 第 52 号住居址出土遺物   | ..... | 32 |
| 第 20 図 第 53 号住居址出土遺物   | ..... | 33 |
| 第 21 図 第 53 号住居址出土遺物   | ..... | 34 |
| 第 22 図 第 54 号住居址出土遺物   | ..... | 35 |
| 第 23 図 第 55 号住居址出土遺物   | ..... | 35 |
| 第 24 図 第 56 号住居址出土遺物   | ..... | 35 |
| 第 25 図 第 57 号住居址出土遺物   | ..... | 35 |
| 第 26 図 土壌 80 出土遺物      | ..... | 36 |
| 第 27 図 土壌 83 出土遺物      | ..... | 36 |
| 第 28 図 土壌 84 出土遺物      | ..... | 36 |
| 第 29 図 土壌 85 出土遺物      | ..... | 36 |
| 第 30 図 土壌 89 出土遺物      | ..... | 36 |
| 第 31 図 土壌 90 出土遺物      | ..... | 36 |
| 第 32 図 土壌 91 出土遺物      | ..... | 36 |
| 第 33 図 土壌 92 出土遺物      | ..... | 37 |
| 第 34 図 土壌 95 出土遺物      | ..... | 37 |
| 第 35 図 土壌 97 出土遺物      | ..... | 37 |
| 第 36 図 土壌 98 出土遺物      | ..... | 37 |
| 第 37 図 土壌 99 出土遺物      | ..... | 37 |
| 第 38 図 土壌 102 出土遺物     | ..... | 37 |
| 第 39 図 土壌 103 出土遺物     | ..... | 38 |

|                |       |    |
|----------------|-------|----|
| 第40図 土壌104出土遺物 | ..... | 38 |
| 第41図 土壌107出土遺物 | ..... | 38 |
| 第42図 土壌108出土遺物 | ..... | 38 |

## 図 版

### 巻頭図版

- 1 高見原遺跡上空より
- 2 1 第50号住居址埋甕
- 2 土壌99遺物出土土器

### 図 版

- 1 遺跡遠景
- 2 調査前
- 3 第50号住居址・埋甕
- 4 第51号住居址・埋甕炉
- 5 第52号住居址
- 6 調査状況・第53号住居址・炉・遺物出土状況
- 7 第54・55号住居址・第56号住居址・遺物出土状況(56号住)
- 8 土 壤 80・81・82
- 9 " 83・84・85
- 10 " 86・87・88・遺物出土状況(88)
- 11 " 89・90・91
- 12 遺構状況・土壌92・93・94
- 13 土 壤 95・96・97
- 14 土 壤 98・99・遺物出土状況(99)
- 15 " 100・遺構検出状況・土壌101・102
- 16 " 103・104・105・106
- 17 " 107・108・109・調査状況
- 18 遺構確認状況
- 19 第50号住居址出土土器
- 20 "
- 21 第50号・51号・53号住居址出土土器・51号住埋甕炉
- 22 土 壤 88・99出土土器
- 23 出土土器・石器
- 24 出土土器
- 25 出土石器

# 第1章 発掘調査の経緯

## 1 事業の経過

県営中山間総合整備事業竜東地区「原垣外」工区内の遺跡保護については、県文化財・生涯学習課、上伊那地方事務所、市水道工務課、市教育委員会との事前協議により、記録保存のための発掘調査を実施することとされていた。

調査対象面積1,600m<sup>2</sup>、調査費用430万円（中山間分3,205千円・集落排水分655千円・上水道分440千円）として、平成13年7月11日に上伊那地方事務所と駒ヶ根市の間で委託契約が締結され、同月に駒ヶ根市と駒ヶ根市埋蔵文化財発掘調査会との間で最委託契約を結んだ。

調査会は、高見原遺跡発掘調査団を編成し、7月12日より現場作業を開始し、9月27日に終了した。その後遺物整理・図面整理等の報告書刊行作業を行い、報告書の刊行をもって事業を完了した。

## 2 発掘調査の組織

### (1) 駒ヶ根市埋蔵文化財発掘調査会

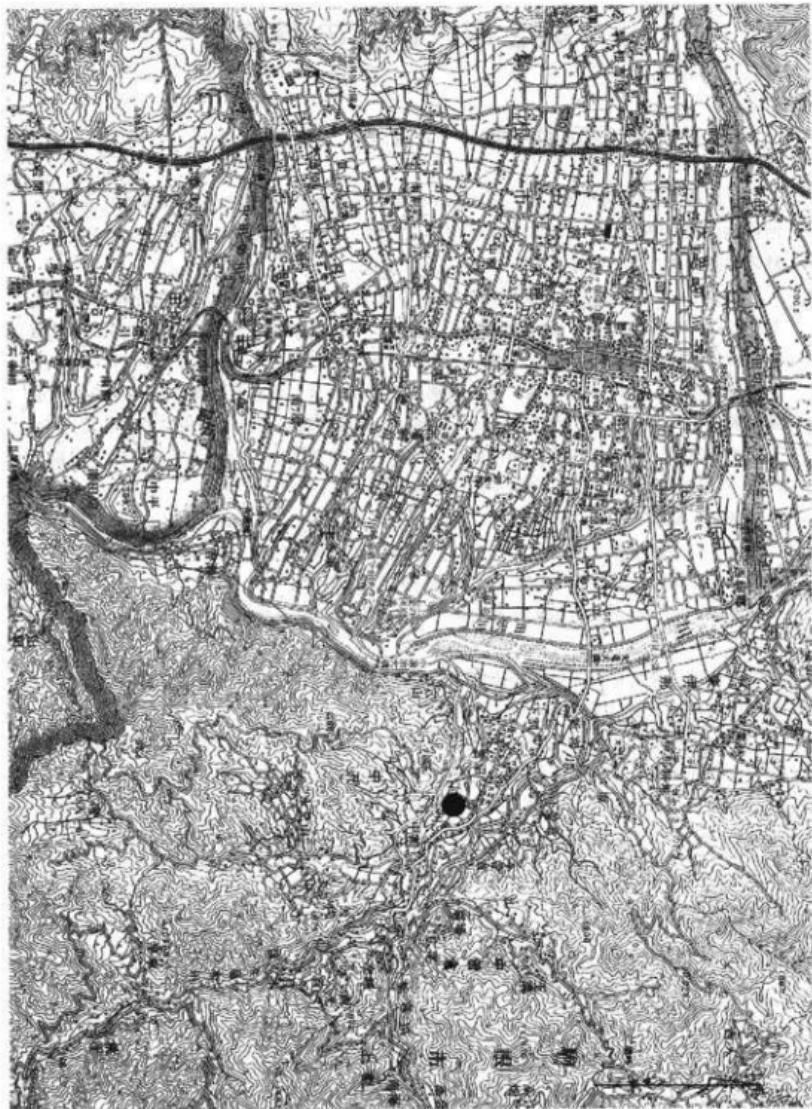
- 顧問 片桐成登（駒ヶ根市教育委員長）  
会長 中原稻雄（駒ヶ根市教育長）  
理事 小林晃一（市教育委員会次長）  
〃 友野良一（市文化財審議会会長）  
〃 林 超（〃 副会長）  
〃 小池金義（〃 委員）  
〃 吉江修深（〃 委員）  
〃 新井徳博（〃 委員）  
〃 田中清文（〃 委員）  
〃 松村勝彦（市教育委員会生涯学習課長）  
〃 氷賀澤進（〃 市立博物館長）  
監事 赤須弘佑（駒ヶ根市収入役）  
〃 小平協平（駒ヶ根郷土研究会会长）  
幹事 石沢真一（市教育委員会生涯学習課）  
〃 丸地由美（〃 ）  
〃 村澤秀樹（〃 市立博物館）  
〃 田村 巴（〃 市立博物館）  
〃 湯澤啓子（〃 市立博物館）



第1図 長野県駒ヶ根市位置図

(2) 高見原遺跡発掘調査団

団長 氷賀澤 進 (日本考古学協会員 発掘担当者)  
調査員 北澤 雄喜 (上伊那考古学会員)  
" 田中清文 (長野県考古学会員)  
" 吉澤文夫 (辻沢遺跡群研究会員)  
調査主任 田村 巴 (駒ヶ根市立博物館)  
作業協力員 赤羽 昭  
" 久保田 瞳 美  
" 小林 克喜  
" 関口昌宏  
" 竹村 章子  
" 竹村俊文  
" 平沢昌輝  
" 宮崎啓子



第2図 高見原遺跡位置図 ( $S = 1 : 50,000$ )

## 第2章 遺跡の環境

### 1 遺跡の立地（第1・2図）

高見原遺跡は、長野県駒ヶ根市中沢の中割・普沼地区の原垣外・横山地籍に所在し、所在地の緯度経度は、北緯35度43分0秒～17秒、東經137度59分15秒～138度0分28秒の位置にあたり、標高は660m～672mである。

交通上では、中央道駒ヶ根ICよりJR駒ヶ根駅に至り、主要地方道駒ヶ根一長谷線を約6kmの地点に所在する中沢支所・公民館、中沢小学校など主要施設が集まる地域の南東に位置している。

駒ヶ根市は、西に木曾山脈、東に伊那山地を前山とした赤石山脈を望み、その間を諏訪湖から発した天竜川が南流する、長野県の南部伊那谷のほぼ中央に位置している。

中沢地区は、天竜川左岸の河岸段丘上にあり、伊那山地の前山より流れ出した新宮川と下間川が両河川の間に台地を形成し天竜川に注いでいる。

遺跡は、蔵澤寺付近より続く舌状台地の先端部にある。この付近の段丘は、天竜川河床面から5段を数えることができ、当遺跡はその最上段面に展開している。天竜川との直線距離は1,500m、比高差100m前後ほどである。

遺跡の範囲は台地の西の大半を占め、東西に330m、南北200m、約7haの範囲に広がっている。

この地域の東に位置する赤石山脈と伊那山地との間には、中央構造線が走っており、当地区の地質基盤は領家帯に属する岩盤からなっている。

「中沢地域の段丘面は、形成年代の古い順に、蔵澤寺面・赤坂面・鳥居原面・追引面・南割面の五つに区分され、新宮川と下間川に挟まれ、大坪から普沼にかけて細長く分布する。この面には新宮川や下間川などによって形成された扇状地疊層の上に、約8mのテフラ質堆積物が重なり、その下部には御岳第1テフラ：On-Pm1が厚く堆積している。」（寺平1995）

### 2 歴史的環境・周辺の遺跡（第3図）

中沢地区の本遺跡が所在する台地および新宮川・下間川流域には30箇所余の遺跡が存在している。以下時代毎に当地区的遺跡の概要を触れていくこととする。

旧石器時代は、表面採取だが的場・門前（10）で尖頭器・石斧が確認されており、洪積世の段丘地形と地層で構成される本台地の自然湧水地点付近で今後も発見される可能性を秘めている。

縄文時代の遺跡は、天竜川の下位から第2段丘上に古城南（20. 中期）があり、新

宮川沿いに柴（31、後期）遺跡がある。第5段丘上に位置する本遺跡を取り巻くように、東原（5、中期）、久保垣外（6、中期）、日向（4、中期）、下間（26、中期）、持木平（34、中期）の各遺跡が、衛星的な位置を保つように所在している。また、本遺跡の東500mの丘陵基部付近には、的場・門前（10、草創期・早期・中期・後期・晚期）、上垣外（9、中期）遺跡がある。本遺跡の南対岸にあたる、下間川左岸の狭い山麓線上には、下流より梨木平（16、中期）、細久保（15、中期）、小山Ⅱ（30、後期）遺跡が並列している。また、北側の新宮川を隔てた対岸には、山麓の小規模な台地上に下流から五郎垣外（22、中期）、太座垣外（23、早期）、遺跡が、低位置段丘上には配石址が確認された小林（24、中期）遺跡がある。

以上のように数多くの縄文時代の遺跡があり、特に中期の遺跡が密に分布している状況にある。

弥生時代の遺跡数は急激に減少し、久保垣外（6、後期）、羽前場（13、中期）遺跡に遺物が散見する程度で、高燥で水が少ない台地地形や傾斜面の多い段丘地形が原因と考えられる。また、古墳時代の遺跡も少なく、古式須恵器片が細久保（15）遺跡で採集されている外、東原（5）遺跡に数基の墳丘があったことが伝えられているが、確証は得られていない。

奈良・平安時代の遺跡は、第2段丘上の古城南（20）では奈良時代末の住居址2軒が確認されている。平安時代になると中沢台地周辺で遺跡数が多くなり、東原（5、平安）、久保垣外（6、平安）、徳光寺（25、平安）、新宮川の低位置に高見坪の内（8、平安末）がある。また、台地基部付近に的場・門前（10、平安）、一本柿（29、平安）遺跡がある。さらに、下間川流域には、梨木平（16）、横山（2）、小山（30）、日向（4）、ごみ垣外（14）遺跡など台地の周縁に沿って展開しており、灰釉陶器が出土する遺跡が多い。

鎌倉・室町時代においては、台地上に当遺跡をはじめ的場・門前（10）、一本柿（29）、高見城址（11）、白山城址（28）、坪の内（8）、香花社（27）、町（7）、日向（4）、横山（2）、と1.6kmの長さに遺跡が展開している。坪の内遺跡は、昭和60年に地下2mの層位で発見され、12世紀後半～13世紀前半の掘立柱建物址が認められた。同年、香花社遺跡も社の建つ円形丘の周囲に周濠が廻っていることが確認され古式城郭であると認められた。白山城址には単郭長方形の郭が確認され、古瀬戸灰釉陶器片等が出土していた。また高見城址は、西城、外城などの郭が残っており、台地長方向に割る堀が何本か認められている。台地上で特に家が密集する地域には町遺跡があり、「ますがた」と直線道路と屋敷割とを現在も残しており中世町屋形式の面影をとどめている。下間川を挟んだ南の対岸には小山Ⅰ遺跡（12）があり、昭和59年度の発掘によって室町時代中期に造営された、単郭方形居館址が確認された。郭の規模は50×60mで、内部には掘立柱建物、池泉、水路、門、櫓などの後が検出され、15世紀に100年程度の間継続された豪族の生活址が判明した。的場・門前遺跡では、南北40m東西80mのコの字形に溝を巡らせた郭を2面並列させ、この北東部に虎口（門）を設けた一辺80mの方形館址が検出されている。

その他、河岸段丘の第4段丘端に菅沼城址（18）が、第2段丘端には古城址（21）

が、新宮川右岸の段丘端には原城址（32）が、新宮川右岸の河岸段丘に曾倉館址（33）があり城郭の形を依存している。

また、菅沼区の大楽寺跡には「明徳三年」の宝篋印塔があり、現在は同区常秀院内に移されている。以上のように中沢台地上には中世の遺跡が密に分布しており、この地域が三峯川以南・陣場形以北一帯を統治した中沢氏の本拠地であると考えられている。



- |          |          |          |          |           |
|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 高見原   | 2. 横山B   | 3. 横山A   | 4. 日向    | 5. 東原     |
| 6. 久保垣外  | 7. 町     | 8. 高見坪の内 | 9. 上垣外   | 10. 的場・門前 |
| 11. 高見城址 | 12. 小山I  | 13. 羽前場  | 14. ごみ垣外 | 15. 細久保   |
| 16. 梨木平  | 17. 菖沼   | 18. 菖沼城址 | 19. 大楽寺跡 | 20. 古城南   |
| 21. 古城址  | 22. 五郎垣外 | 23. 太座垣外 | 24. 小林   | 25. 徳光地   |
| 26. 下間   | 27. 香花社  | 28. 白山城  | 29. 一本柿  | 30. 小山II  |
| 31. 柴    | 32. 原城址  | 33. 曾倉城址 | 34. 持木平  |           |

第3図 高見原遺跡及び周辺遺跡分布図 (S = 1 : 15,000)

## 第3章 発掘調査

### 1 調査の経過

#### (1) 過去の調査について

高見原遺跡は舌状台地上約7haに展開している。この地域の土地は畑作を中心に水田・住宅地に利用されている。古くから土器・土偶・石器等が平坦部及び南側斜面より出土し関心を呼んでいた。本遺跡の小字地名「高見原」は、この地域の中世の地頭職高見氏及び古村名高見村に由来するものと考えられている。大正13年には上伊那教育会主催により実施された上伊那の出土遺物事業で、東京大学人類学教室鳥居博士の踏査により先住民族の遺跡地として「先史及び原始時代の上伊那」に紹介され広く知られるところとなった。

発掘調査は、昭和28年に林茂樹氏の指導により、中沢中学校郷土クラブが中心部を調査し、縄文中期藤内II期に属する竪穴住居址を検出した。さらに、同年11月には、同クラブにより台地突端部南側の横山A遺跡が調査され、縄文草創期・早期・平安時代の遺物・遺構が検出された。同クラブは、昭和36年にも横山B遺跡で縄文中期初頭の竪穴住居址1軒を検出している。

昭和50年には、老人福祉施設「やすらぎ荘」建設に伴い、記録保存のため駒ヶ根市教育委員会により発掘調査が行われ、縄文前期終末の竪穴住居址1軒を確認した。

続く昭和54年、中沢保育園建設による発掘調査が東接地点で行われ、竪穴住居址3軒と土壙111基が発見された。

昭和60年には、本遺跡周辺が県営のほ場整備による改田事業が実施されることとなり、詳細分布調査を実施し土地改良事業による破壊に対し保護策を講じることとなった。調査は高見原遺跡周辺15haに、試掘坑を100箇所設定し行われ、本遺跡の全域にかけて縄文時代中期を中心、古代・中世に至る遺構・遺物が確認された。また、西方の横山遺跡及び周辺の久保垣外・東原・日向・下間・町遺跡がそれぞれ接続し存在していることも確認された。この調査により遺跡の範囲はおよそ7haの広範囲に及ぶことが判明した。

翌昭和61には、県営ほ場整備事業の施工に伴い4,420m<sup>2</sup>を発掘調査し、縄文時代の竪穴住居址45軒・土壙71基・中世の掘立柱建物址6軒・近世の掘立柱建物址2軒が検出されている。縄文の住居址は丘陵稜線上から弧状に配列され重複し密集して検出された。その時期は中期初頭から後葉におよび、径80~100m規模の楕円形集落が想定されている。この調査により検出された各時代の遺構・遺物により、本遺跡の重要性をあらためて示唆することとなった。

#### (2) 調査概要(第4・5・6図)

今回の調査は、県営中山間総合整備事業駒ヶ根農業集落排水緊急整備事業、中山間関連上水道の配水管布設替工事に伴うもので、本遺跡の中心部を通る道路整備によるものである。調査対象の道路の延長は406mで、遺跡東端の県道駒ヶ根一長谷線の合

流点より西へ向かい横山遺跡との接点で向きを北に変え、中沢保育園南の駐車場入口付近に至る区間である。

調査方法は、バックホウによって全面表土を除いた後、遺構を確認する方法をとった。尚、この道路は地域住民の生活道路であるため、一定区間毎に調査と現場復旧とを繰り返し作業にあたった。

調査地は道路の下が大半であり、調査対象全域にわたり水道管が布設されている。また、前回の調査時には開田時における影響も確認されている。このことから遺構の残存状態が心配された。調査の結果、予想通り調査地区の大部分で破壊が及んでおり遺構検出に苦慮した。破壊の影響と限られた範囲での調査のため多くの遺構は全容を明らかにできなかったが、住居址7軒・土壙30基・溝状遺構1基を検出している。

遺構番号は前回の調査を考慮し、今回の調査に関わることは住居址番号50番・土壙80番からである。

### (3) 発掘調査作業経過

- 7月12日 中沢保育園駐車場入口南より調査地西に隣接する桑畠の南端までバックホウにて舗装・碎石の除去。中央部に幅約1m水道管布設工事による搅乱。
- 7月13日 前日の箇所を北側から遺構の検出に務める。北から10mの範囲内では遺構は検出されず、遺物もほとんど出土しない。
- 7月14日 水道布設箇所の両側にトレーニングを入れ遺構確認を行う。北から35m付近の水道東側に落ち込みを確認。
- 7月16日 調査地は東方に向きを変えるが、南に接する水田の西端までバックホウにて舗装・碎石及び表土を剥ぎ取る。
- 7月17日 トレーニングの延長。水道布設の西側には遺構は確認されない。先に確認した落ち込み部分を精査した結果。住居址(50号)と判明。
- 7月18日 50号住居址掘り下げ、調査済み地区的測量。
- 7月19日 50号住居址掘り下げ、炭、焼土が全体より検出される。北壁付近及び中央部に土器がまとめて出土した。
- 7月21日 50号住居址精査、南壁付近に埋甕を確認する。
- 7月24日 水田の北端に沿い東側へバックホウにて舗装・碎石及び表土を剥ぎ取り。50号住居址清掃、写真撮影、埋甕の取り上げ。
- 7月25日 遺構確認を行い住居址(51号)及び土壙(80)を検出する。50号住居址測量。
- 7月26日 51号住居址・80号土壙掘り下げ。50号住居址の中心部分には水道が通過している。床面は判然としないが北西調査区境界付近の一部分は叩き締められている。埋甕炉と思われる土器を検出する。
- 7月27日 51号住居址床面・壁面の検出に務めるも判然としない。土壙80より東へ遺構確認を行い、土壙81・82を確認し掘り下げる。
- 7月28日 51号住居址床面精査。土壙81・82掘り下げ。土壙81より東へ遺構確

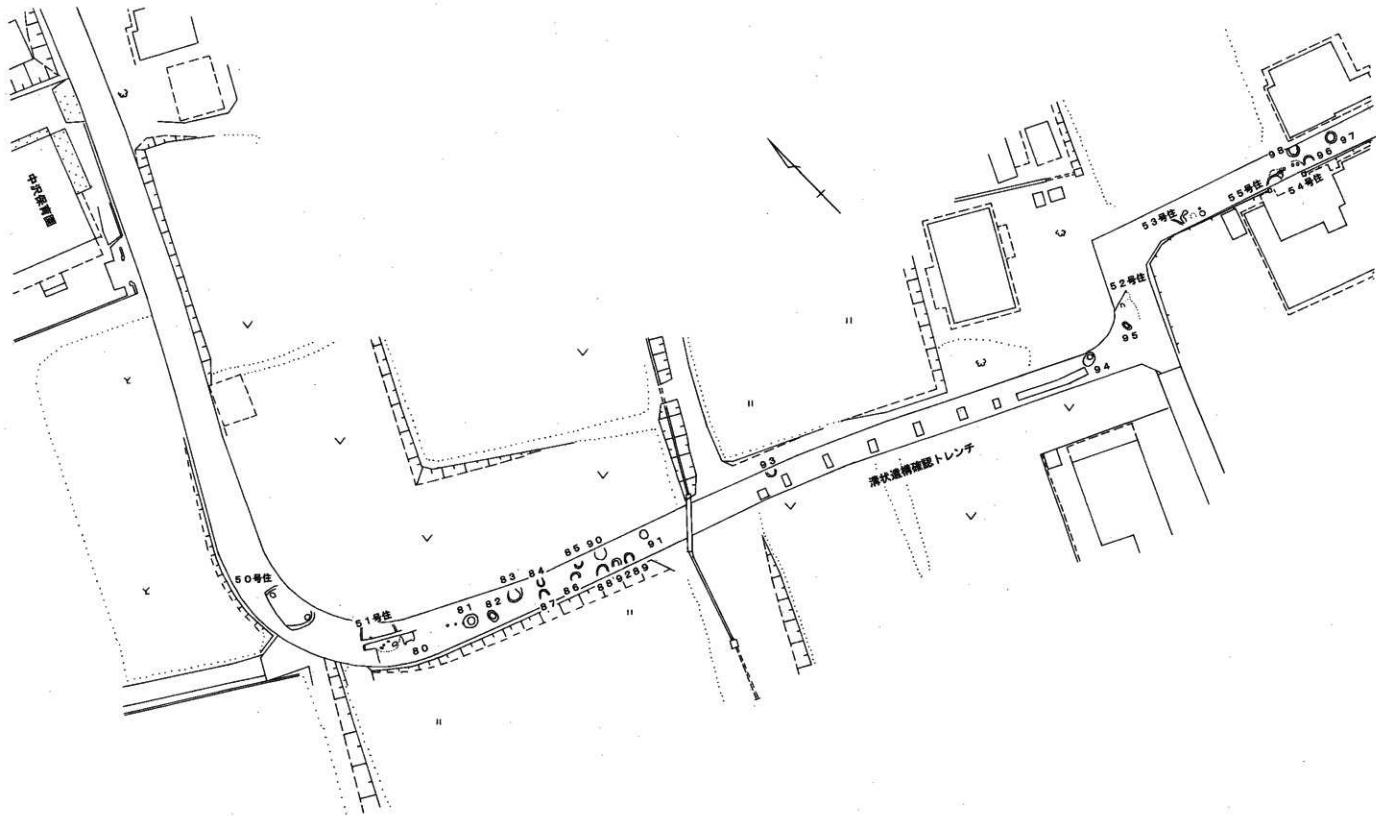
認をおこなう。51号住居址・土壤80清掃、写真撮影。赤穂公民館講座受講生見学。

- 7月31日 土壌81清掃、写真撮影。土壌82・83掘り下げ。51号住居址測量。
- 8月 1日 土壌83・84・85・88・89掘り下げ、土壌88から土器がまとまって出土、51号住居址・土壌80・81・82測量。
- 8月 2日 土壌83の上層水道管を保護し下部を掘り下げる。土壌86・88・89・90・91掘り下げ。土壌84・85・87清掃、写真撮影
- 8月 3日 土壌83・90・92掘り下げ、土壌88の土器を取り上げる。土壌91・83清掃、写真撮影。
- 8月 4日 道路を南北に横断している水路から約60mの間は北側の半分大部分が縄文時代包含層まで削りとられている、用地南端の水路東を確認のため掘り下げたところ南に向かい傾斜して落ち込んでいるため、用地南側を5m間隔の1m幅で8ヶ所を掘り下げることにする。土壌88・90・92清掃・写真撮影。土壌83～90・92測量。
- 8月 6日 土壌83～92測量
- 8月 7日 土壌93掘り下げ。確認坑掘り下げ1・3・4・6・7写真撮影、いずれも南側に傾斜し落ち込んでいる。遺物はほとんど出土しない。
- 8月 8日 確認坑2・5・8写真撮影、土壌93・確認坑測量、現場中断のため用具の片付け。
- 8月 9日 お盆中の通行を確保するため埋め戻し、調査現場作業は16日まで中断。
- 8月17日 作業再開。調査対象道路と下間川へ向かい南に伸びる道路の交差地帯をパックホウにて舗装・碎石及び表土を剥ぎ取り。旧道路界のものと思われるコンクリート用壁が埋設されているなど激しく搅乱されている。
- 8月18日 遺構確認し、土壌94・95掘り下げ。
- 8月21日 土壌94・95掘り下げ、土壌95北東に焼土を検出。台風11号接近のため用具の片付け。
- 8月23日 土壌95北東精査、焼土北に炉石検出(52号)。床面ははっきりせず、壁は搅乱により確認できない。土壌94・95写真撮影・測量。
- 8月24日 52号住居址写真撮影・測量。52号住居址より東へ遺構確認、用地南住宅の西端に遺構を確認(53号)する。用地の北側は旧井戸により搅乱されている。
- 8月25日 53号住居址掘り下げ、炉石検出、炉の北に焼土確認。炉東西のピットより土器がまとめて出土した。
- 8月28日 53号住居址より東へ遺構確認、掘り下げ。53号住居址写真撮影・測量。
- 8月29日 54・55号住居址、土壌96掘り下げ。54号住居址北に落ち込みを確認する。土壌96写真撮影。
- 9月 1日 54号住居址精査床面ゆるくはっきりしない、壁も壊されている。55号住居址床面検出。土壌97・98掘り下げ。98覆度中に炭混入。54・55号住居址写真撮影・測量。

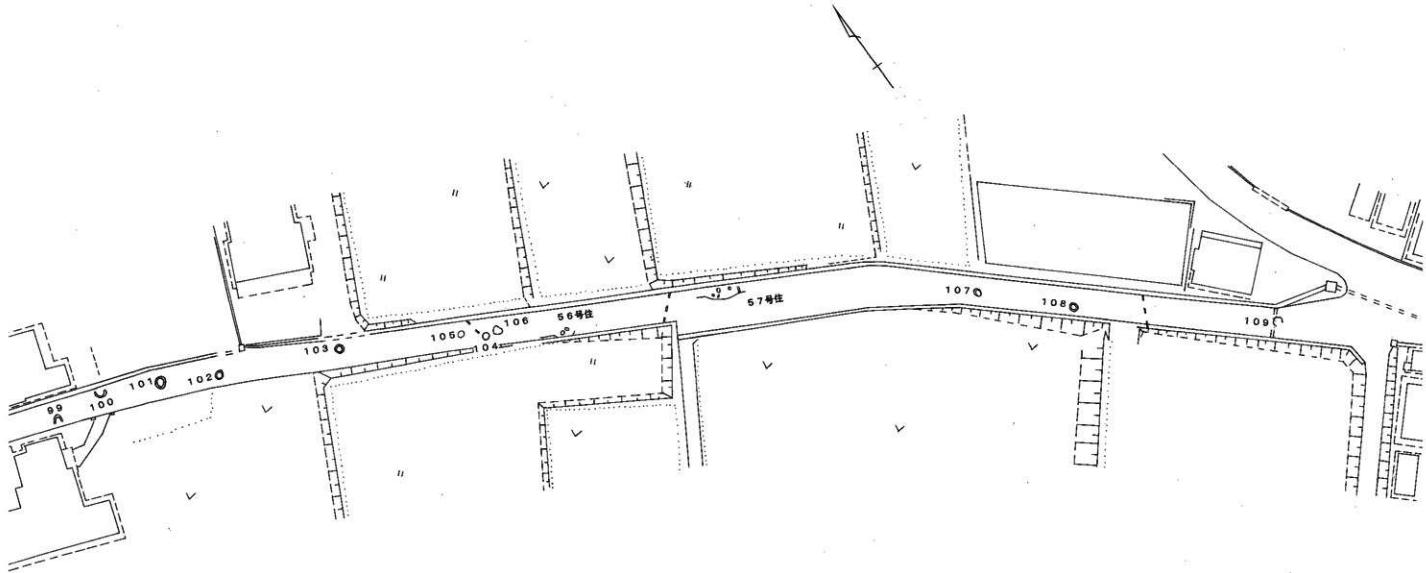


第4図 高見原遺跡調査概要図 (S=1:3,000)





第5図 調査透構全体図1 (S = 1 : 500)



第6図 調査造構全体図2 (S = 1 : 500)

- 9月 2日 土壌97精査、土壌97・98写真撮影、土壌96～97測量。
- 9月 4日 土壌97東土壌99を掘り下げ土器検出、写真撮影
- 9月 6日 土壌100・101掘り下げる。土壌101東方の遺構検出に務める。土壌99写真撮影。
- 9月 7日 土壌102掘り下げ102より東へ遺構検出。土壌100・101写真撮影。
- 9月 8日 土壌102掘り下げ、写真撮影。土壌99～102測量。土壌99・101・102作業員にて埋め戻し。
- 9月12日 バックホウにて碎石除去・表土剥ぎ取り。
- 9月13日 雨の影響で午後より作業を実施。遺構検出、落ち込み掘り下げ。
- 9月14日 土壌103掘り下げ、写真撮影。土壌103東遺構掘り下げ。
- 9月15日 土壌103測量 午前中で作業終了。
- 9月17日 土壌104・105精査、写真撮影。
- 9月18日 土壌105・106精査写真撮影。土壌106東のピット内石皿検出(56号)、土壌104～106測量
- 9月19日 56号住居址精査。壁は搅乱により壊されている。56号住居址東へ遺構確認に努める。
- 9月20日 57号住居址掘り下げ、写真撮影・測量。
- 9月21日 土壌107掘り下げ、107東を遺構確認。56号住居址写真撮影・測量。
- 9月25日 遺構検出に務める。土壌107写真撮影・測量。
- 9月26日 土壌108・109掘り下げ。
- 9月27日 土壌108・109清掃、写真撮影・測量。現場作業終了。

## 2 遺構と遺物

### (1) 住居址

#### 1 第50号住居址(第7・16・17図 図版3)

本住居址は第51号住居址の北西に位置しており、東は調査対象外であり、西は水道が南北に敷設されている。プランははっきりしないが、隅丸方形に近いものと考えられる。南北方向は6mを測る。壁高は北側で43cm、南側は33cmである。床は叩き締められているが全体にあまり固くない。中央東よりの調査対象区域境に炉石が検出されている。南側の壁際には周溝が確認された。住居址南側で埋甕が検出されている。覆土中から炭・焼土が全体に混入し床面に炭化材が検出されており火災により焼失したものと思われる。

本住居址からは比較的多くの遺物が出土した。1は南の壁際で検出された埋甕(浅鉢)でほぼ完形である。口縁は平縁で僅かに内湾している、太い沈線の渦巻と方形区画の内部に刺突文が施されている。焼成は良好である。2は有孔鈍付土器であろう、孔は残存していない。頸部下に細い3条の沈線文が横走し、真中の線は長尾渦巻文である。内外面共に赤色の塗彩が残している。3は鉢形土器口縁から胴部で、渦巻から放射状に太い沈線を放ち線内に刺突文が再施文

されている。全体にススが付着している。時期は総じて中期後葉に属する。石器は58~60が打製石斧である。61・62は石錐である。

## 2 第51号住居址（第8・18図 図版4・21）

本住居址は第50号住居址の南東に位置している。住居址のほぼ中央部を東西に分断するよう水道が布設されている。北は調査対象外の畑で、南は水田に接している。61年の調査ではこの水田の中央南で縄文中期の住居址1軒を確認している。プランは不明で、規模は確認できる東西で4、6mである。壁ははっきりしないが部分的に東が27cm、西は23cmを測ることができる。床は北西の一部分を除き全体的にゆるく、中央に向かい緩やかに傾斜している。炉は深鉢形土器を利用した埋甕炉である。

遺物は少ない。1の埋甕炉の土器は胴部上半部の部分を残すのみで、粘土紐を貼り付けた細い隆線文が施されつまみ状の小さな突起がある。非常にもろく焼きはよくない。遺物が少ないが中期初頭に比定されるであろう。

## 3 第52号住居址（第9・19図 図版5）

本住居址は土壌95の北、土壌94の東に位置している。調査対象道路が下間川方面に延びる道路と交差している区域になる。旧道路界と考えられる擁壁が埋められていた。また、北側には水道が布設されているなど破壊されている。プラン・規模は不明であり、床もはっきりしない。炉が検出されている。炉の長軸方向はN-50°-Eであり、炉内に焼土を確認している。西側で焼土を検出している。

本住居址から出土した土器は小片ばかりである。時期は中期初頭であろう。15は硬砂岩の石錐である。

## 4 第53号住居址（第10・20・21図 図版6・21）

本住居址は第54・55号住居址の西に位置している。北は旧井戸の攪乱により失われ、南は調査対象外の住宅に繞いており未調査である。プラン・規模は不明である。東は攪乱により壁は確認できない。西壁は削り取られ僅かに現高で6、5cmを測る。炉は縦長に石を配した円形の石組炉である。炉内と炉の北で焼土が検出されている。

土器は破片が多く、復元できるものは1の小型深鉢形土器のみである。胴部上半部に隆帯が横走し、その上部にU字上の弦線が組み合わされ施されている。上部につまみ状の突起と隆帯に接して把手が付いている。2は有孔鍔付土器で径5mmの孔が2コ残存している。よく調整され焼成は良好である。時期は中期中葉である。石器は打製石斧・磨製石斧・石匙・石鎌が出土している。

## 5 第54号住居址（第11図 図版7-1）

本住居址は第53号住居址の東に位置しており、南西部を第55住居址によ

って切られている。南は調査対象外の住宅地である。壁は破壊されはっきりしないが東が17cm、北で23.5cm、西が12cmを部分的に確認できる。プランは隅丸方形であろうか。

遺物は非常に少ない。時期は中期中葉に属する。

#### 6 第55号住居址 (第11図 図版7-1)

本住居址は第54号住居址を切っている。南は調査対象外で未調査である。プラン・規模は不明である。壁高は86cmで、54号住居址との床面差は6.5cmである。床は固く叩き締められ良好である。

遺物は極めて少ない。時期は中期中葉である。

#### 7 第56号住居址 (第12図 図版7-2)

本住居址は土壌106の東に位置している。南は調査対象外の水田に接している。北は水道管と旧井戸により破壊されているため、プラン・規模は不明である。床は、P1内で石皿を検出している。

遺物は少なくP2上部から深鉢形土器の胴部が出土している。時期は中期初頭であろう。2は緑色岩類石匙である。

#### 8 第57号住居址 (第13図 図版7-4)

本住居址は第56号住居址の東域、土壌107の西域に位置している。北は水路により、南は旧井戸により失われている。破壊によりプラン・規模は不明である。壁は破壊されているが東の一部で僅かに残存し16cmを測る。床はゆるくはっきりしない。

遺物の土器は破片のみであり数も少ない。中期中葉に属する。

#### (2) 土 壤 (第14・15・26~42図 図版8~17・22)

土壤は調査地区全域で30基確認された。約半数は調査対象地域外に及んでおり未調査部分を残している。ここでは遺物が出土した土壤を中心にみていくこととする。

土壤83は土壤82の東、84・87の西に位置している。本調査最大規模の土壤で、平面形はほぼ円形を呈し口径は195×156cm、深さは105cmを測る。土器は破片が出土している。

土壤88は、土壤85・86の東、92の西に位置している。南西側は調査対象地区外であるためはっきりしないが、平面形は円形に近いと思われる。口径は確認できる範囲で152×111cmを測り、深さは65cmである。上層部から出土した土器(図30 図版22-1)は、深鉢形土器の胴部上半部より口縁にかけてある。口縁下には結節の半隆起線が横走している。その下部の隆帶と頸部の隆帶とに区切られた部分には沈線の格子文で埋められている。頸部以下10条余の平行沈線が横走しその内のやや幅の広い2条には交互刺突による鋸歯文が施されている。中期初頭に比定され

る。石器は緑色岩類の敲石が出土している。

土壙99は、土壙97の南東、100の西に位置している。南は調査対象地区外の住宅へ続いている。平面形は円形を呈すると思われ、口径は119×97cmを測る。深さは76cmで、覆土中には炭が混入していた。西壁際の底部上方から、頭部より上を欠く深鉢形土器(図37 図版22-2)が正位で出土した。木葉痕を残す底部から胴下半部が大きく膨らみ、幅の広い3条の平行懸垂文により10区画に区分されており、区画内は縄文で埋められている。中期後葉に比定される。

土壙107は土壙108の西、第57号住居址の東域に位置している。平面形は梢円形で、口径は105×85cmを測る。深さは76cmである。覆土中下層に石が10個入り込んでいる。その中で凹石が1個出土している。

### (3) 溝状遺構(第4図 図版18)

土壙93と94の間の調査区の南に接する畠に沿って東西方向に溝状遺構が検出された。調査対象区外に統いており全様は明らかでないが、調査区内から畠方向に向かい落ち込みを見せてている。確認された範囲での畠面からの深さは35~122cmである。全てのトレンチで最深部を捉えているのかは疑問が残るが、地形からも西に傾斜しているものと判断される。遺物はまったく伴わず時期等は不明である。

## 第4章 おわりに

高見原遺跡は、舌状台地に展開する大遺跡であることは過去の調査により明らかにされている。今回の調査は、道路敷地内という狭い範囲のもので、その上かなりの区域が過去に搅乱されていた。

今回の調査で確認された遺構は、住居址7軒、土壙30基、溝状遺構1基である。住居址は全て縄文中期に属するものと考えられる。縄文時代の集落として前回調査と一致するものである。遺跡中央部を走る道路内の成果であり、予想される台地南側への集落の広がりに関して、不十分ではあるが、繁ぎの役割を果たしたものと考えたい。

今回の調査地は、高見原遺跡内において最も遺構の残存状況が心配された部分の調査であったが、上記のとおりの遺構が検出された。このことからも高見原遺跡の秘められた力の大きさと、重要性を再認識させられた。貴重なこの遺跡を開発からいかに保護していくのか、今後の大きな課題である。

最後に、調査に深いご理解をいただきご協力をいただいた関係各位、異常なまでの酷暑の中発掘調査に参加いただいた調査団の皆様に、心より感謝申し上げおわりとしたい。

表1 高見原遺跡土壤一覧表

| 番号 | 土壤番号 | 平面形  | 断面形  | 口径(cm)    | 底径(cm)    | 深さ(cm) | 備考            |
|----|------|------|------|-----------|-----------|--------|---------------|
| 1  | 80   | 不明   | 鉢状   | 152×(100) | 65×(40)   | 69     | 壁内ピット1・壁外ピット1 |
| 2  | 81   | 円形   | 桶状   | 132×98    | 120×115   | 96     | 壁外ピット3        |
| 3  | 82   | 隅丸方形 | "    | 225×170   | 90×58     | 71     | 石錐ピット1        |
| 4  | 83   | 円形   | 桶状   | 195×156   | 138×123   | 105    | 下部に石1コあり。     |
| 5  | 84   | 円形   | タライ状 | 105×(86)  | 83×79     | 39     |               |
| 6  | 85   | 不明   | "    | 115×(55)  | 105×(51)  | 45     | 小ピット1         |
| 7  | 86   | 椭円形? | "    | 143×(85)  | 120×(59)  | 41     |               |
| 8  | 87   | 円形?  | 鉢状   | 145×(105) | 122×(98)  | 56     |               |
| 9  | 88   | 円形?  | "    | 152×(111) | 120×(100) | 65     | 鐵石            |
| 10 | 89   | 椭円形? | タライ状 | 131×(102) | 107×(100) | 39     | 打製石斧2 石5コ入る。  |
| 11 | 90   | 円形?  | 円筒状  | 153×(104) | 150×(103) | 90     | 打製石斧1         |
| 12 | 91   | 椭円形  | タライ状 | 118×(105) | 107×100   | 41     | 打製石斧1         |
| 13 | 92   | 円形?  | 桶状   | 125×(81)  | 105×(79)  | 77     | 打製石斧4         |
| 14 | 93   | 不明   | タライ状 | 120×(58)  | 100×(45)  | 30     |               |
| 15 | 94   | 不整椭円 | 桶状   | 180×(120) | 98×90     | 98     |               |
| 16 | 95   | 椭円形  | 鉢状   | 131×88    | 108×70    | 32     |               |
| 17 | 96   | 円形?  | タライ状 | 118×(92)  | 105×(84)  | 35     |               |
| 18 | 97   | 円形   | 桶状   | 150×144   | 119×112   | 102    |               |
| 19 | 98   | 椭円形  | "    | 158×(116) | 133×(101) | 64     |               |
| 20 | 99   | 円形?  | "    | 119×(97)  | 95×(88)   | 76     |               |
| 21 | 100  | 円形?  | "    | 140×(104) | 105×(91)  | 76     |               |
| 22 | 101  | 椭円形  | "    | 153×135   | 130×115   | 77     |               |
| 23 | 102  | 円形   | "    | 110×110   | 92×79     | 64     | 石匙 石6コ入る。     |
| 24 | 103  | 椭円形  | 鉢状   | 130×107   | 100×79    | 53     | 凹石 ピット3       |
| 25 | 104  | 円形   | "    | 102×98    | 88×85     | 41     | 石2入る。炭化種子1    |
| 26 | 105  | 円形   | タライ状 | 90×83     | 75×71     | 30     |               |
| 27 | 106  | 不整椭円 | 皿状   | 145×117   | 125×105   | 31     |               |
| 28 | 107  | 椭円形  | 桶状   | 105×85    | 79×67     | 76     | 石10コ入る。凹石1    |
| 29 | 108  | 不整椭円 | 鉢状   | 98×87     | 79×77     | 41     |               |
| 30 | 109  | 円形?  | 皿状   | 123×(104) | 81×(76)   | 31     |               |

表2 高見原遺跡出土石器属性表

第50号住居址

| 番号 | 層位  | 器種   | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重さ(g)  | 石材   | 残存状態   | 備考 |
|----|-----|------|--------|-------|--------|--------|------|--------|----|
| 1  | 床   | 磨製石斧 | 14.0   | 5.8   | 4.1    | 600    | 緑色岩類 | 完形     |    |
| 2  | フク土 | 打製石斧 | 10.2   | 3.9   | 1.1    | 64     | "    | "      |    |
| 3  | "   | "    | 9.1    | 3.9   | 1.5    | 67     | "    | "      |    |
| 4  | "   | "    | 8.4    | 4.6   | 1.6    | 66     | "    | "      |    |
| 5  | "   | "    | 10.8   | 4.3   | 1.9    | 136    | "    | 刃部欠損   |    |
| 6  | "   | "    | 11.2   | 4.9   | 2.0    | 120    | 硬砂岩  | 基部一部欠損 |    |
| 7  | "   | 磨製石斧 | 5.7    | 2.4   | 1.0    | 26     | その他  | 基部のみ   |    |
| 8  | "   | 石錐   | 8.2    | 6.5   | 2.8    | 204    | 硬砂岩  | "      |    |
| 9  | "   | "    | 5.2    | 4.2   | 1.6    | 42     | "    | "      |    |
| 10 | "   | 凹石   | 10.4   | 8.7   | 4.7    | 550    | 花崗岩  | 完形     |    |
| 11 | "   | "    | 9.4    | 8.2   | 4.6    | 500    | 硬砂岩  | "      |    |
| 12 | "   | 石皿   | 33.8   | 32.6  | 5.5    | 10,450 | その他  | "      |    |
| 13 | "   | 磨石   | 11.2   | 8.6   | 5.3    | 800    | 花崗岩  | "      |    |

第52号住居址

| 番号 | 層位  | 器種   | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重さ(g) | 石材   | 残存状態   | 備考 |
|----|-----|------|--------|-------|--------|-------|------|--------|----|
| 1  | 床   | 磨製石斧 | 14.1   | 5.4   | 3.6    | 428   | その他  | 刃部一部欠損 |    |
| 2  | フク土 | 打製石斧 | 12.6   | 6.2   | 2.2    | 188   | 硬砂岩  | 完形     |    |
| 3  | "   | "    | 9.6    | 2.9   | 1.9    | 92    | 緑色岩類 | 刃部欠損   |    |
| 4  | "   | "    | 7.8    | 5.5   | 1.9    | 150   | 硬砂岩  | 基部のみ   |    |
| 5  | "   | 石錐   | 6.1    | 4.8   | 1.7    | 70    | 硬砂岩  | 完形     |    |

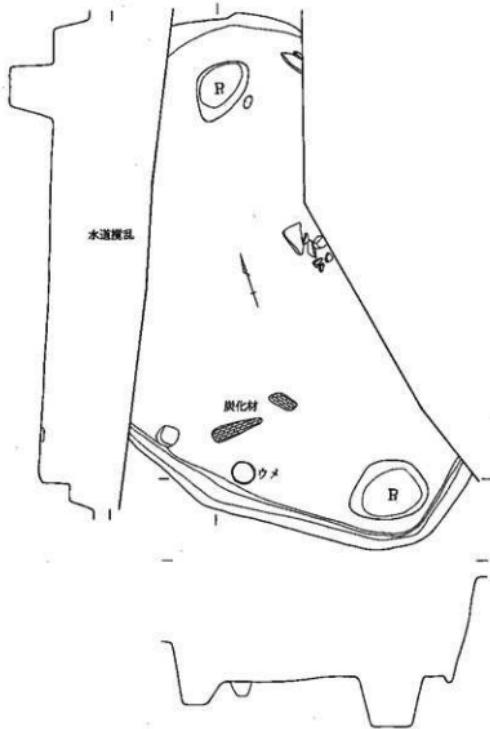
第53号住居址

| 番号 | 層位  | 器種   | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重さ(g)  | 石材   | 残存状態  | 備考    |
|----|-----|------|--------|-------|--------|--------|------|-------|-------|
| 1  | 床   | 打製石斧 | 12.5   | 4.8   | 2.0    | 168    | 緑色岩類 | "     |       |
| 2  | フク土 | "    | 15.4   | 4.0   | 5.7    | 650    | "    | "     |       |
| 3  | "   | "    | 15.4   | 5.3   | 2.3    | 252    | "    | "     |       |
| 4  | "   | "    | 12.3   | 4.1   | 1.3    | 108    | "    | "     |       |
| 5  | "   | "    | 10.8   | 4.6   | 1.1    | 82     | "    | "     |       |
| 6  | "   | "    | 9.3    | 4.6   | 1.9    | 92     | 硬砂岩  | 刃部欠損  |       |
| 7  | "   | "    | 9.1    | 5.4   | 2.0    | 126    | 硬砂岩  | 基部のみ  |       |
| 8  | "   | "    | 6.5    | 3.9   | 2.0    | 60     | 硬砂岩  | "     |       |
| 9  | "   | 磨製石斧 | 13.5   | 4.7   | 1.4    | 170    | 緑色岩類 | 完形    |       |
| 10 | "   | "    | 6.3    | 3.4   | 1.2    | 46     | "    | 基部のみ  |       |
| 11 | "   | 石匙   | 8.1    | 6.9   | 1.3    | 81     | "    | "     |       |
| 12 | "   | "    | 3.2    | 3.4   | 0.8    | 11     | チャート | 完形    | 刃部未調整 |
| 13 | "   | 敲石   | 8.6    | 7.9   | 5.0    | 500    | 緑色岩類 | "     |       |
| 14 | "   | 石皿   | 31.0   | 25.5  | 13.7   | 10,500 | その他  | 2/1欠損 |       |
| 15 | "   | 石鐵   |        |       |        |        |      |       |       |

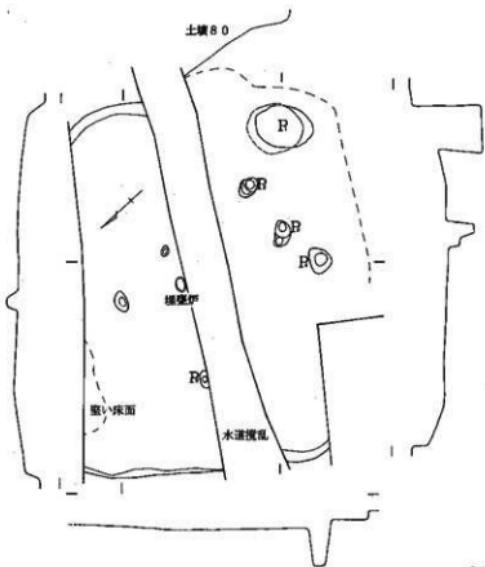
土壤

| 番号 | 土壤番号 | 器種   | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重さ(g) | 石材   | 残存状態 | 備考 |
|----|------|------|--------|-------|--------|-------|------|------|----|
| 1  | 84   | 石錐   | 8.8    | 5.7   | 2.1    | 180   | その他  | 完形   |    |
| 2  | 88   | 敲石   | 7.3    | 6.9   | 4.5    | 370   | 緑色岩類 | "    |    |
| 3  | 89   | 打製石斧 | 7.3    | 3.8   | 1.3    | 58    | 硬砂岩  | 刃部欠損 |    |
| 4  | "    | "    | 10.3   | 4.7   | 1.8    | 136   | 緑色岩類 | 完形   |    |
| 5  | 90   | "    | 11.5   | 4.5   | 1.3    | 114   | "    | "    |    |

| 番号 | 土壤番号 | 器種   | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重さ(g) | 石材   | 残存状態   | 備考 |
|----|------|------|--------|-------|--------|-------|------|--------|----|
| 6  | 91   | 打製石斧 | 9.9    | 3.9   | 1.4    | 80    | その他  | 刃部欠損   |    |
| 7  | 92   | "    | 11.6   | 4.9   | 1.1    | 80    | 硬砂岩  | 基部一部欠損 |    |
| 8  | "    | "    | 8.7    | 4.9   | 1.8    | 96    | 硬砂岩  | 完形     |    |
| 9  | "    | "    | 10.3   | 4.6   | 2.6    | 154   | "    | 刃部欠損   |    |
| 10 | "    | "    | 8.2    | 5.3   | 2.9    | 174   | 緑色岩類 | 基部一部のみ |    |
| 11 | 102  | 石匙   | 9.4    | 6.0   | 1.4    | 68    | 硬砂岩  | 完形     |    |
| 12 | 107  | 凹石   | 20.8   | 16.0  | 9.0    | 3,800 | その他  | 完形     |    |



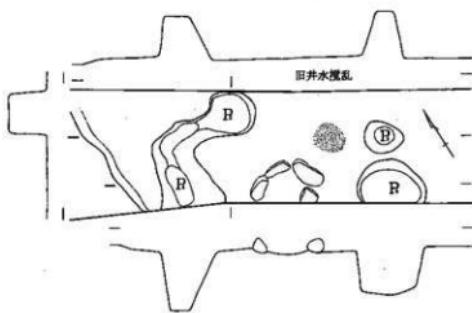
第7図 第50号住居址実測図 (S=1:60)



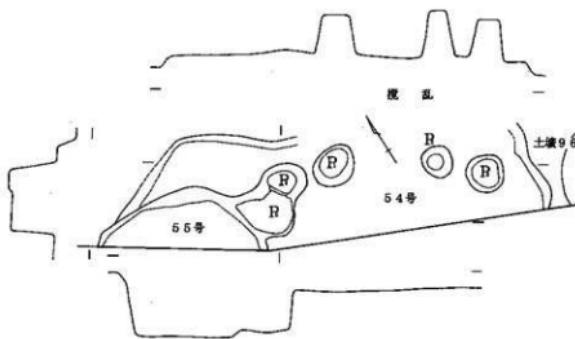
第8図 第51号住居址実測図 (S=1:60)



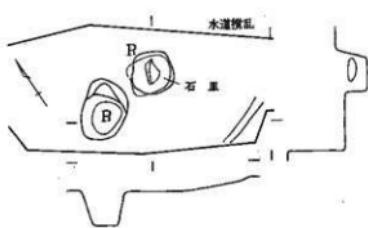
第9図 第52号住居址実測図 (S=1:60)



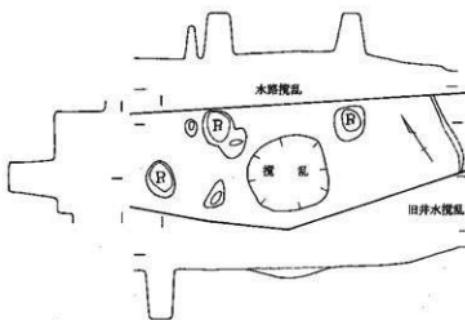
第10図 第53号住居址実測図 ( $S=1:60$ )



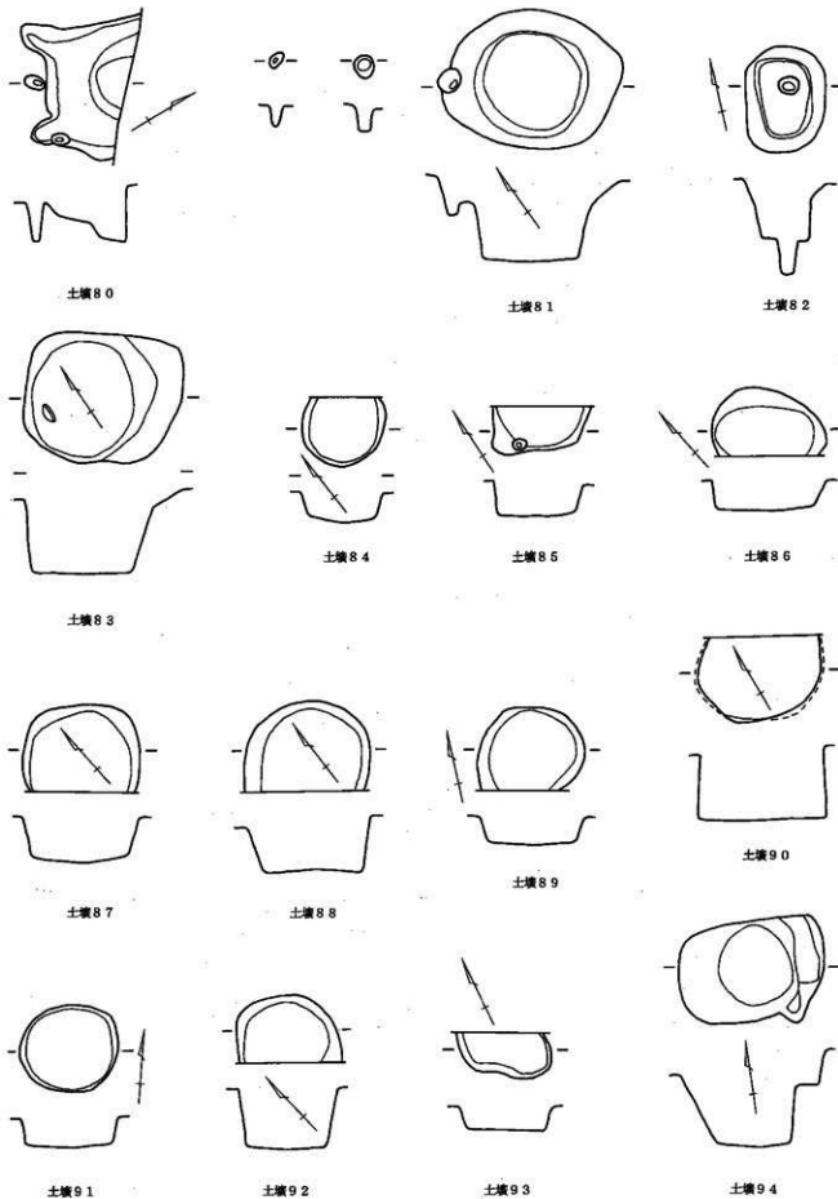
第11図 第54・55号住居址実測図 ( $S=1:60$ )



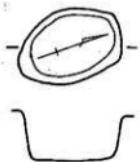
第12図 第56号住居址実測図 (S=1:60)



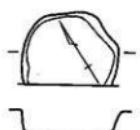
第13図 第57号住居址実測図 (S=1:60)



第14図 土壌80～94実測図 (S=1: 60)



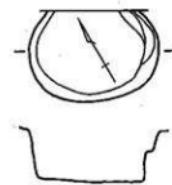
土壤 9.5



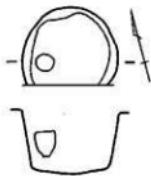
土壤 9.6



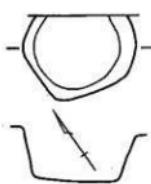
土壤 9.7



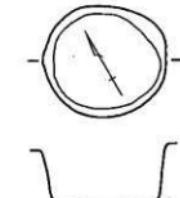
土壤 9.8



土壤 9.9



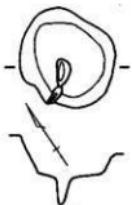
土壤 10.0



土壤 10.1



土壤 10.2



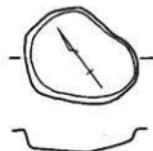
土壤 10.3



土壤 10.4



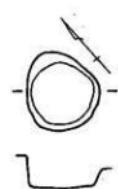
土壤 10.5



土壤 10.6



土壤 10.7

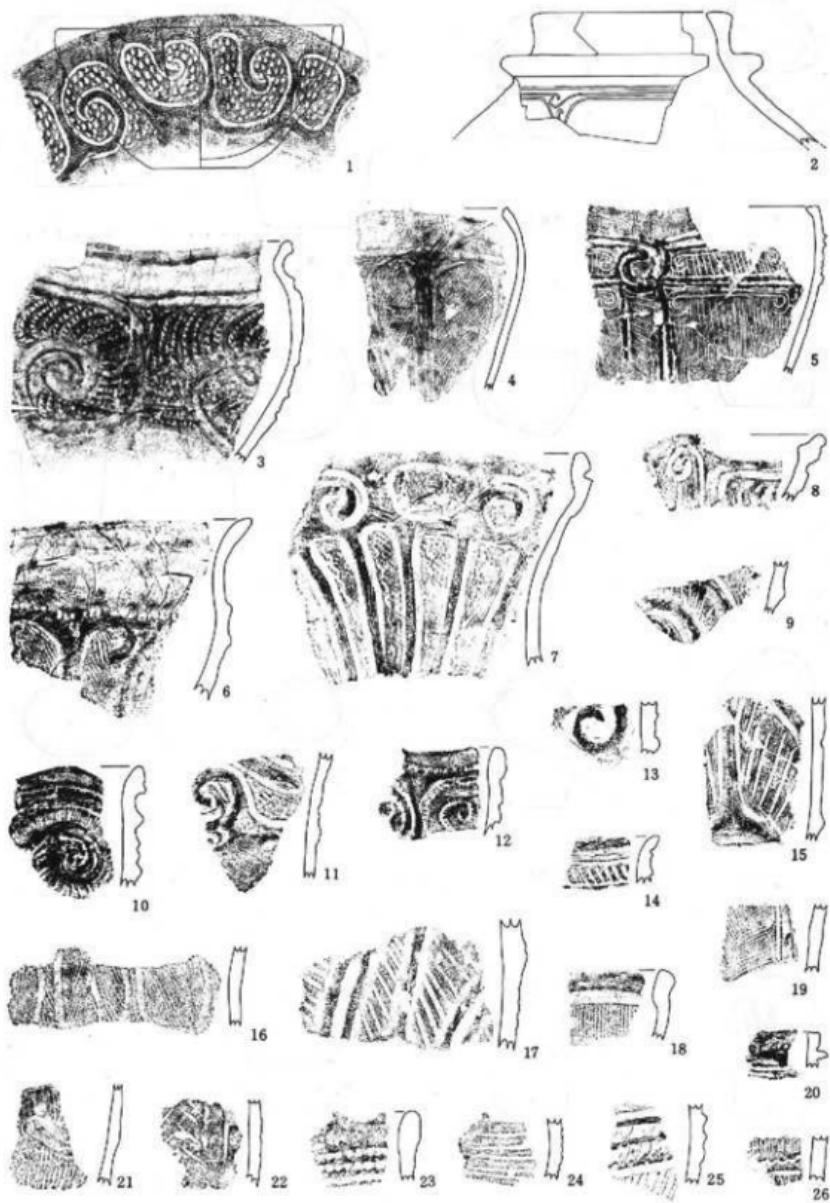


土壤 10.8

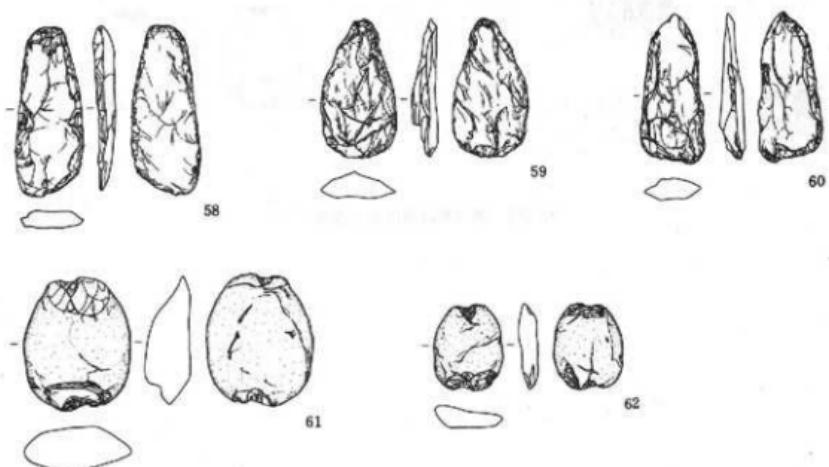
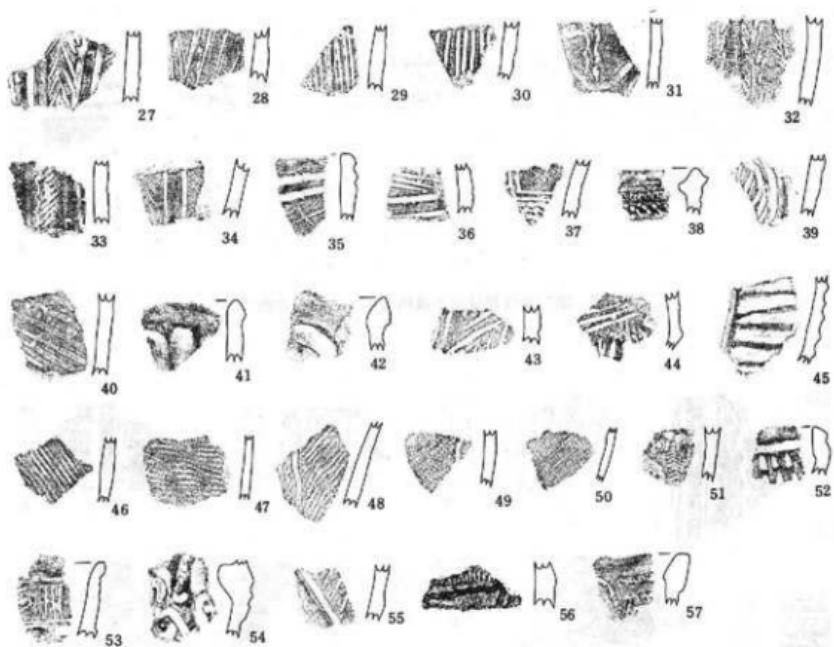


土壤 10.9

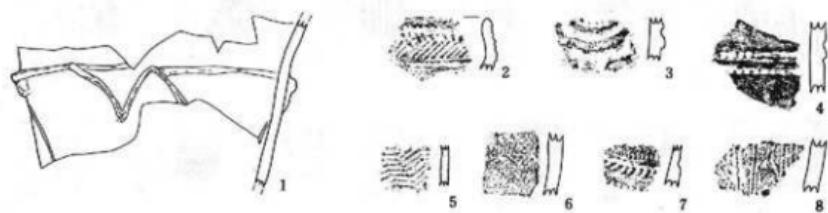
第15図 土壌95～109実測図 (S=1:60)



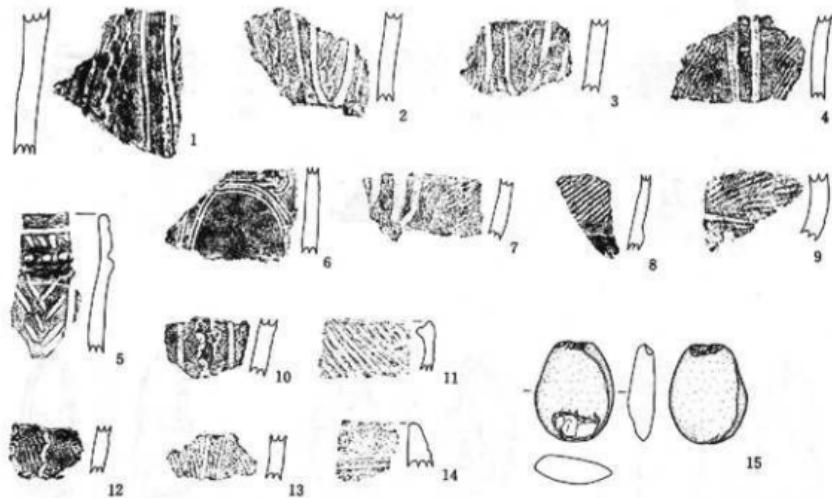
第16図 第50号住居址出土遺物 (1,3~5は $\frac{1}{6}$ , 2は $\frac{1}{4}$ , その他は $\frac{1}{3}$ )



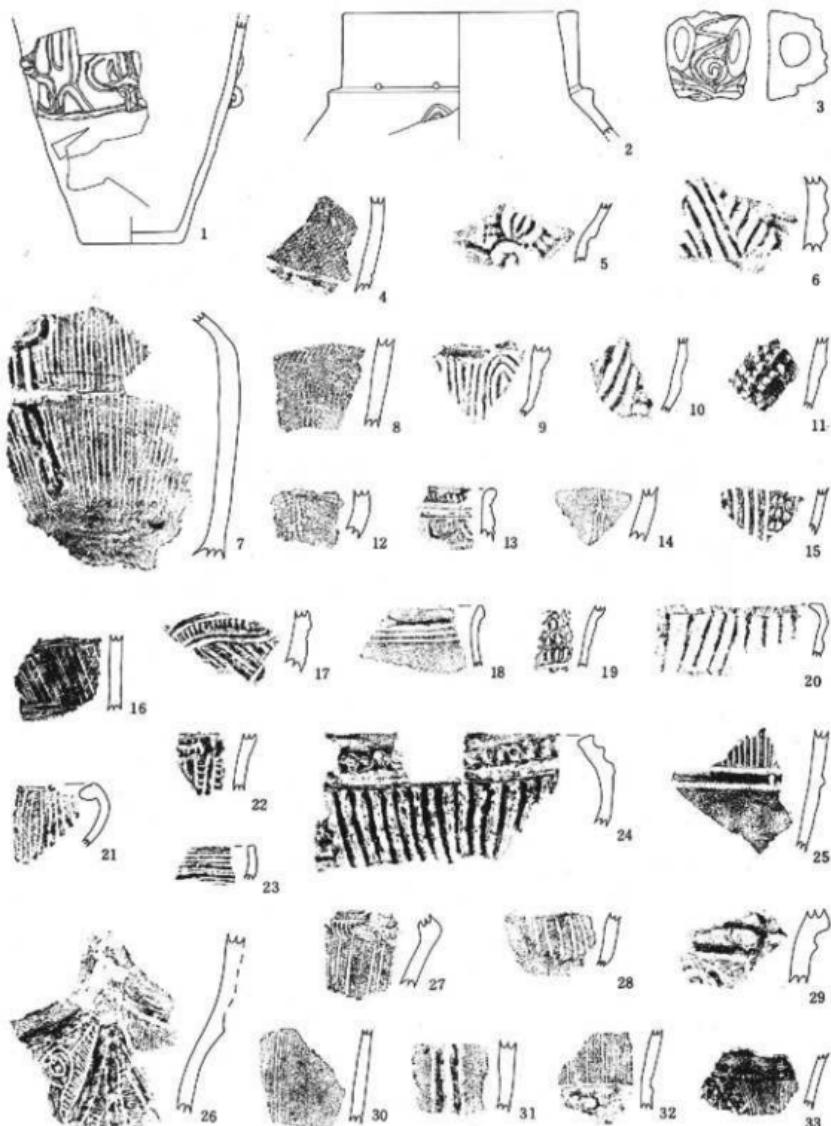
第17図 第50号住居址出土遺物 (1/2)



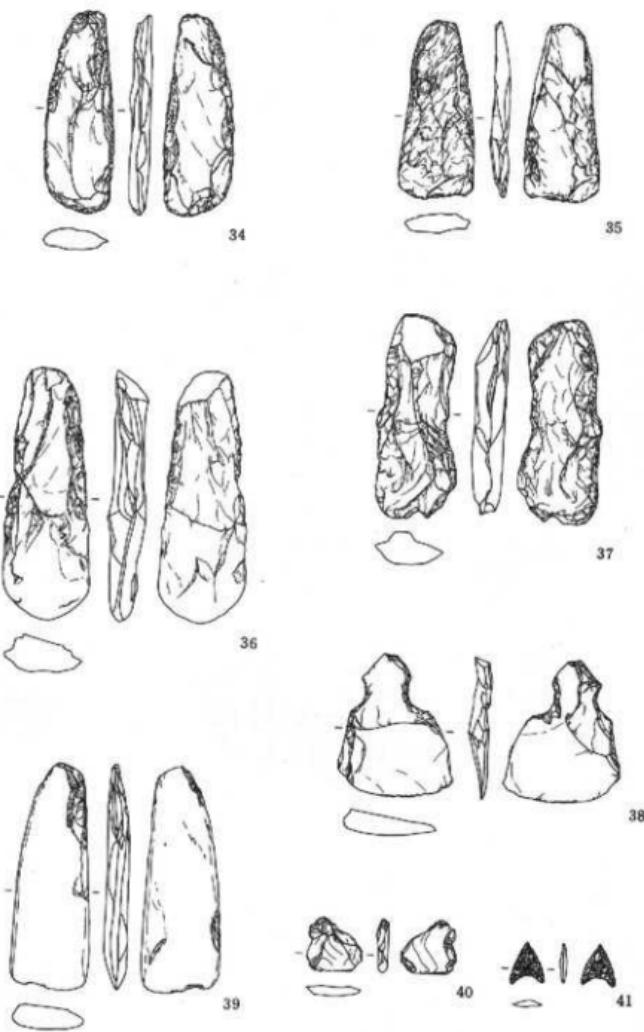
第18図 第51号住居址出土遺物 (1は $\frac{1}{6}$ 、その他は $\frac{1}{3}$ )



第19図 第52号住居址出土遺物 (1/3)



第20図 第53号住居址出土遺物 (1,2は1/4、その他は1/3)



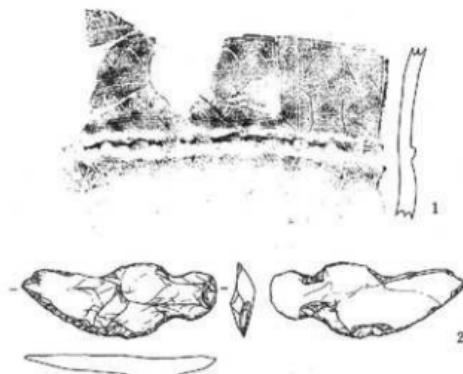
第21図 第53号住居址出土遺物（1/3）



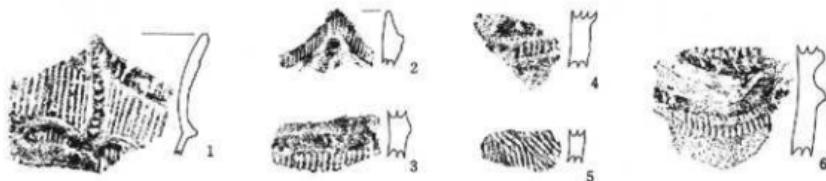
第22圖 第54號住居址出土遺物 (1/3)



第23圖 第55號住居址出土遺物 (1/3)



第24圖 第56號住居址出土遺物 (1/3)



第25圖 第57號住居址出土遺物 (1/3)



第26図  
土壤80出土遺物 (1/6)



1

2

3

4

5

6

7

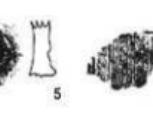
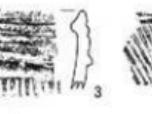
8



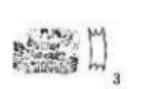
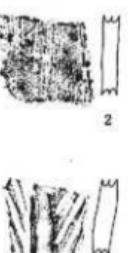
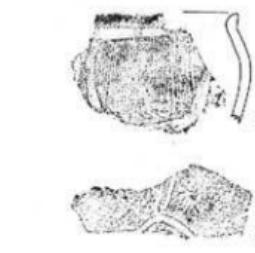
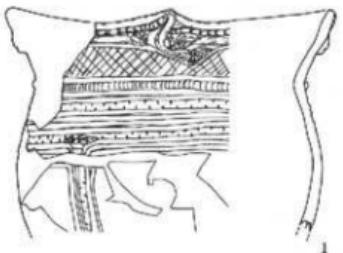
第27図  
土壤83出土遺物 (1/3)



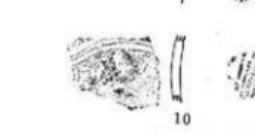
第28図  
土壤84  
出土遺物 (1/3)



第29図 土壤85出土遺物 (1/3)



第30図 土壤88出土遺物  
(1は1/6、その他は1/3)

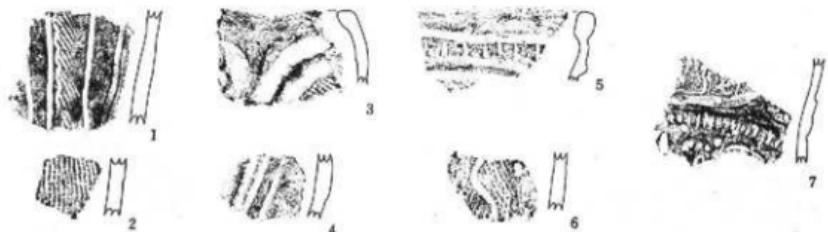


第32図 土壤91出土遺物 (1/3)

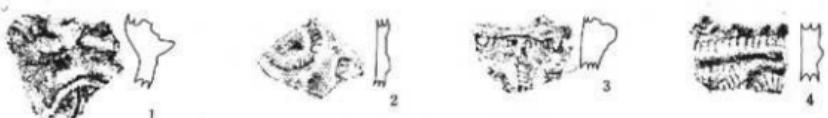
第31図 土壤90出土遺物 (1/3)



第33図 土壌92出土遺物 (1/3)



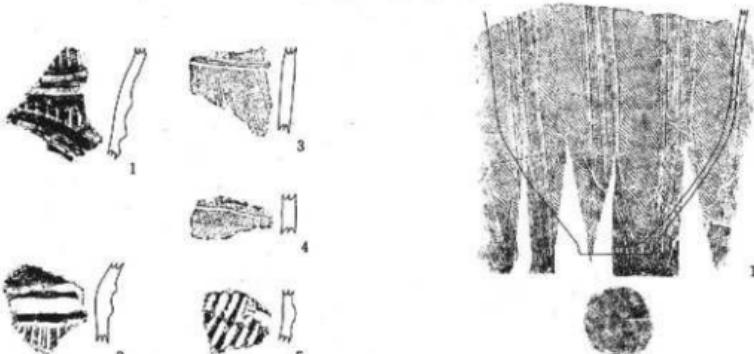
第34図 土壌95出土遺物 (1/3)



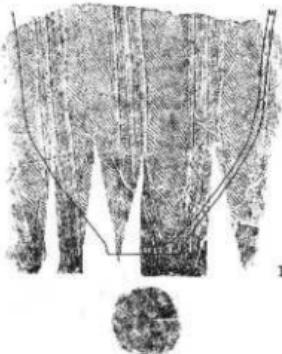
第35図 土壌97出土遺物 (1/3)



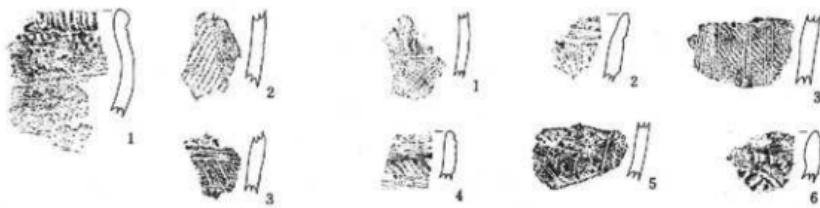
第36図 土壌98出土遺物 (1/3)



第38図 土壌102出土遺物 (1/3)

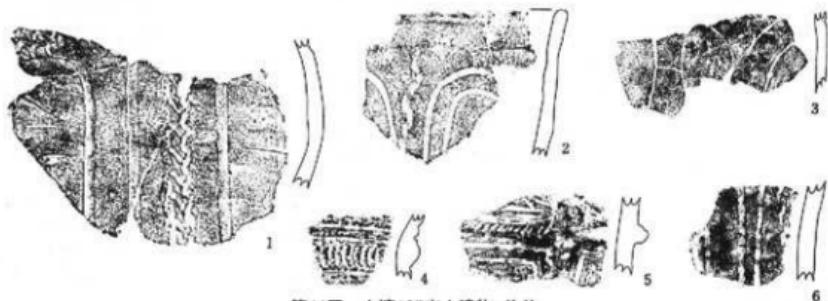


第37図 土壌99出土遺物 (1/6)



第39図 土壌103出土遺物 (1/5)

第40図 土壌104出土遺物 (1/5)



第41図 土壌107出土遺物 (1/5)



第42図 土壌108出土遺物 (1/5)

図版1 遺跡遠景（上：南東から、下：南西から）



図版2 調査前



1.中沢保育園より南を望む



2.西から



3.住宅地区より東を望む

図版3 第50号住居址（上：南から、下：埋甕）



図版4 第51号住居址（上：東から、下：埋廐炉）



図版5 第52号住居址（上：西から、下：炉）



図版 6



1. 調査状況（西から）



2. 第53号住居址（西から）



3. 炉（北から）



4. 遺物出土状況

図版7



1. 第54・55住居址（西から）



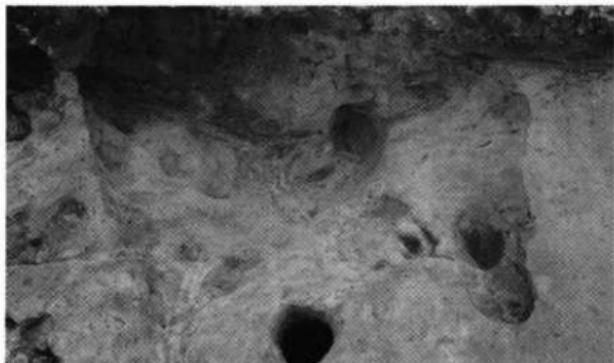
2. 第56号住居址（北から）



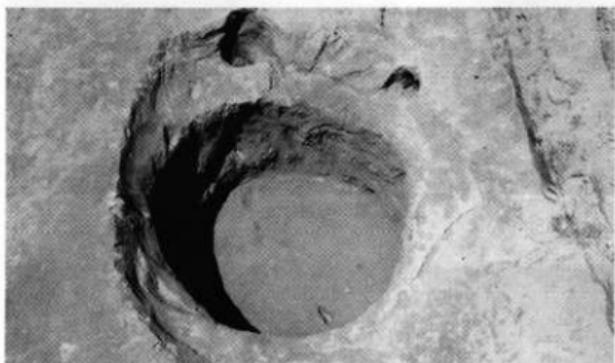
3. 遺物出土状況（56号住）



4. 第57号住居址（西から）



1. 土壌80（南から）

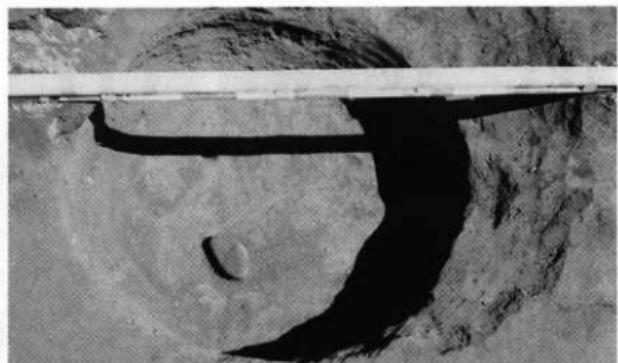


2. 土壌81（東から）

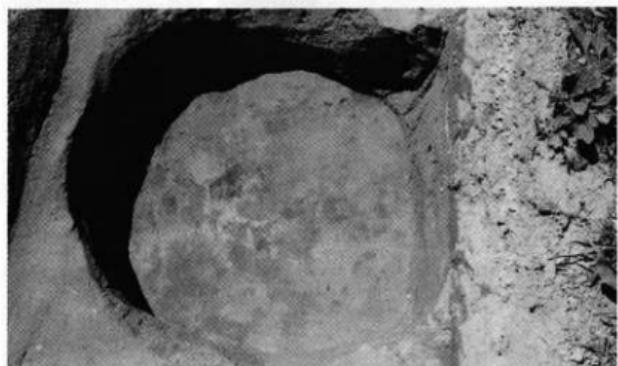


3. 土壌82（東から）

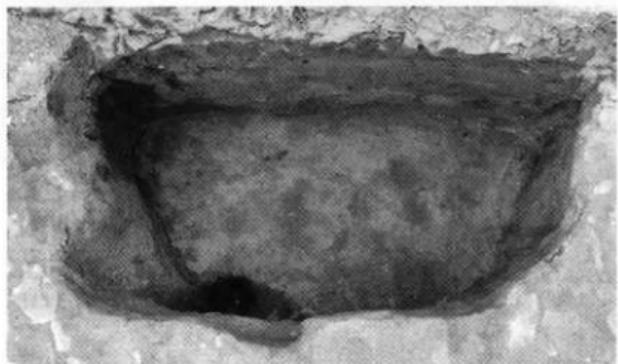
図版 9



1. 土壌83（南から）



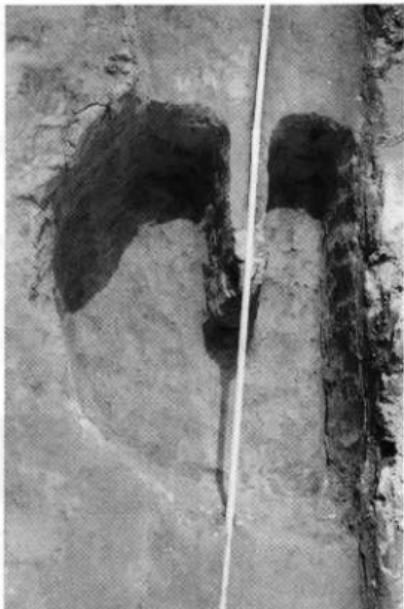
2. 土壌84（東から）



3. 土壌85（南から）



1. 土壌86（東から）



3. 土壌88（西から）



2. 土壌87（東から）



4. 遺物出土状況（土壌88）

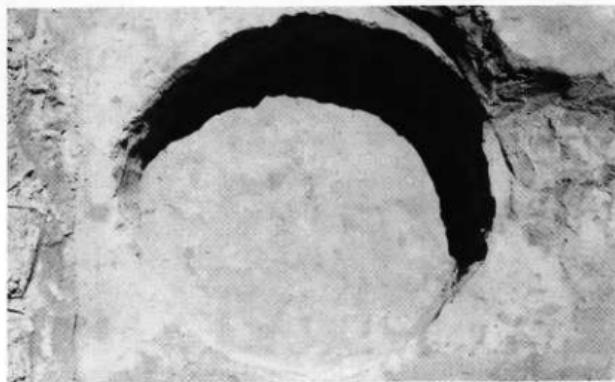
図版11



1. 土壌89（北から）



2. 土壌90（南西から）

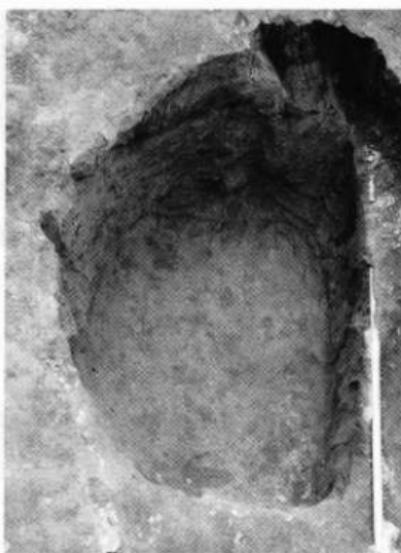


3. 土壌91（西から）

図版12



1. 遺構検出状況（土壤91より東）



2. 土壌92（西から）

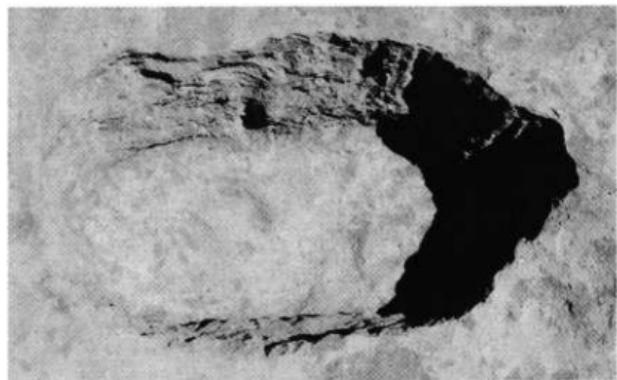


3. 土壌93（西から）

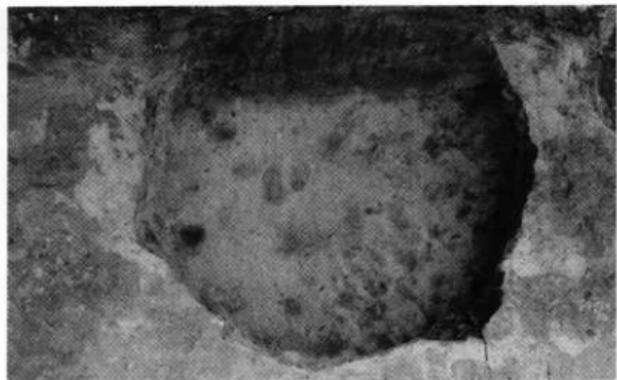


4. 土壌94（西から）

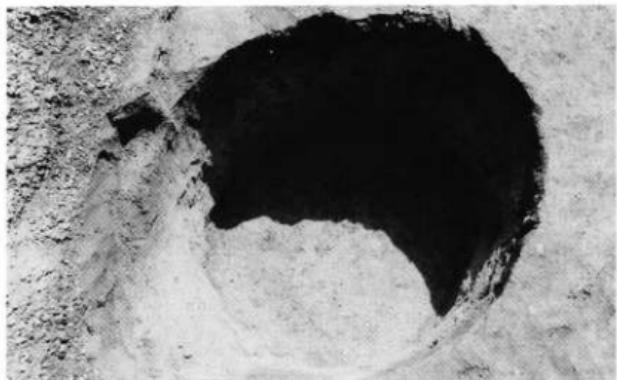
図版13



1. 土壌95（西から）

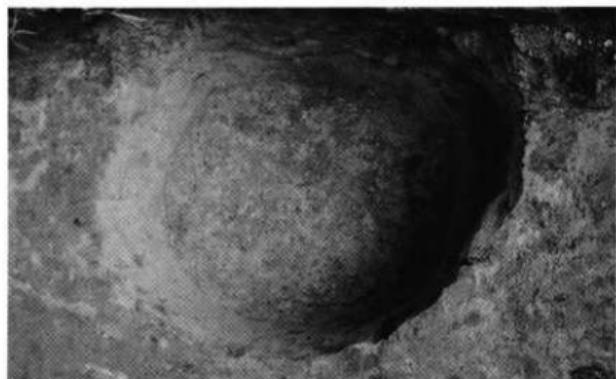


2. 土壌96（北から）



3. 土壌97（西から）

図版14



1. 土壌98（南から）



2. 土壌99（北から）



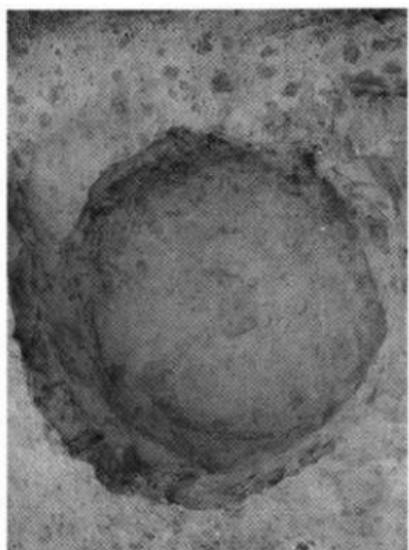
3. 遺物出土状況（土壌99）



1. 土壌100（西から）



2. 遺構検出状況（土壌100・101）



3. 土壌101（南から）



4. 土壌102（南西から）

図版16



1. 土壌103（西から）



2. 土壌104（北西から）



3. 土壌105（北西から）



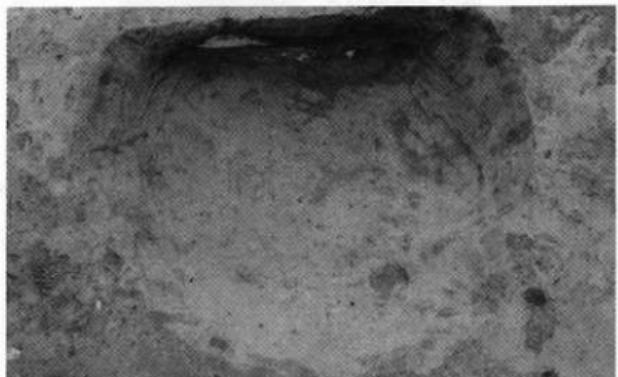
4. 土壌106（西から）



1. 土壌107（北から）



2. 土壌108（北東から）



3. 土壌109（西から）



4. 調査状況（東から）

図版18 溝状遺構確認状況

